

Q 1 : 小学校プログラミング教育の年間計画はどのように作成したらよいのでしょうか。

A 1 : 教育課程内で実施する A~D 分類について、学校の実情等に応じて次のように作成します。まず、プログラミング教育によって育てたい力を明らかにします。次に、教育課程全体を見渡し、プログラミング教育に取り組む学年や教科等を決定します。そして、必要な指導内容を教科等横断的に配列します。

(各分類の概要は、下記の「★小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類」に示しています。)

**ープログラミング教育の年間計画についてー**

➤ プログラミング教育のねらいを実現するためには、各学校において、プログラミングによってどのような力を育てたいのかを明らかにし、必要な指導内容を教科等横断的に配列して、計画的、組織的に取り組むこと、さらに、その実施状況を評価し改善を図り、育てたい力や指導内容の配列などを見直していくこと（カリキュラム・マネジメントを通じて取り組むこと）が重要です。

**プログラミング教育のねらいを実現するための手順（例）**

プログラミング教育によって育てたい力を明らかにする

↓

必要な指導内容を教科等横断的に配列する

↓

計画的、組織的に取り組む

↓

育てたい力や指導内容の配列などを見直す

『[小学校プログラミング教育の手引（第二版）](#) P17~P20』より

参考事例

➤ [江戸川区立東小松川小学校の年間計画](#)

➤ [杉並区天沼小学校の年間計画](#)

『[プロカリ](#)』より

- ★小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類**
- A: 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの
  - B: 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの等の内容を指導する中で実施するもの
  - C: 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの
  - D: クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの
  - E: 学校を会場とするが、教育課程外のもの
  - F: 学校外でのプログラミングの学習機会